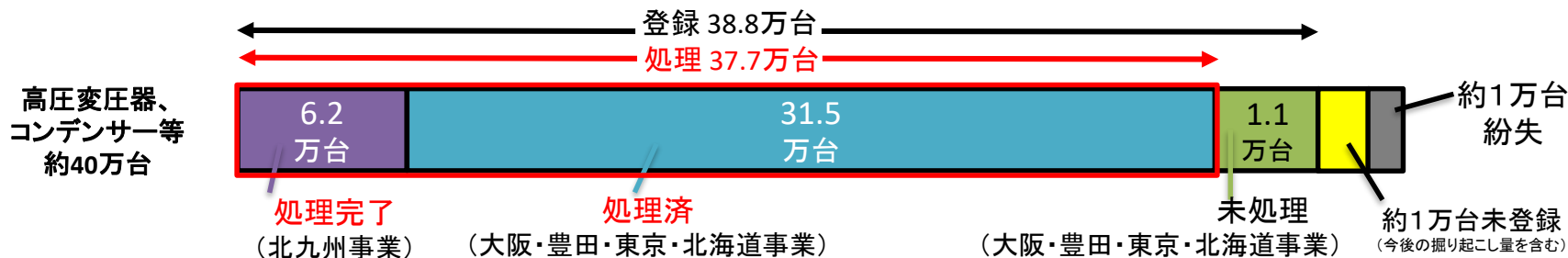
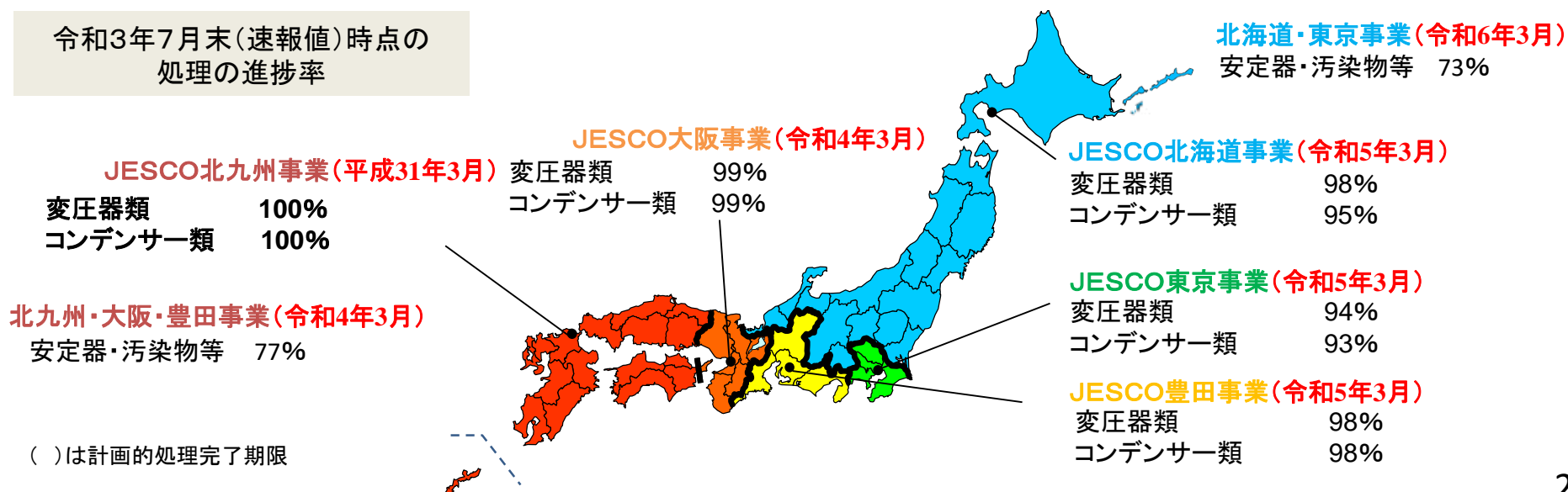


各事業地域における高濃度PCB廃棄物の処理の進捗状況

- JESCOには、令和3年7月末(速報値)時点で、変圧器 約1.62万台、コンデンサー 約37.2万台の計約38.8万台が、処理対象として登録等されており、このうち変圧器 約1.58万台、コンデンサー 約36.1万台の計約37.7万台を処理した。
登録台数に対する処理の進捗率(全国平均)は、変圧器約98%、コンデンサー約97%である。
- 安定器・汚染物等については、約2.1万トンが登録されており、このうち約1.6万トンを処理した。
処理の進捗率(全国平均)は約75%である。



令和3年7月末(速報値)時点の
処理の進捗率



5事業地域それぞれの処理対象量の増分と処理の見通し

	事業エリア	処理対象量			今後の掘り起こし見込み量	R3年度以降の処理対象量	処理完了見込み ^{※1}	計画的処理完了期限	事業終了準備期間末
		H27.1時点(ア)	R3.7時点(イ)	増加率(イ)/(ア)					
安定器・汚染物等	北九州(2期)	5,900t	10,576t	1.8	350t	2,795t	R5年度末	R3年度末	(R5年度末)
	北海道(増設)	6,400t	11,723t	1.8	800t	4,729t	R7年度末	R5年度末	R7年度末
	合計	12,300t	22,299t	—	—	—	—	—	—

変圧器・コンデンサ等	北九州(1期)	55,661台	61,751台	1.1	—	—	—	H30年度末	—
	大阪	73,006台	86,762台	1.2	374台	3,321台	R5年度末	R3年度末	R6年度末
	豊田	55,115台	77,554台	1.4	218台	2,206台	R5年度末	R4年度末	R7年度末
	東京	82,973台	87,207台	1.1	371台	8,574台	R5年度末	R4年度末	R7年度末
	北海道(当初)	60,734台	73,383台	1.2	1,063台	6,318台	R6年度末	R4年度末	R7年度末
	合計	327,489台	386,657台	—	—	—	—	—	—

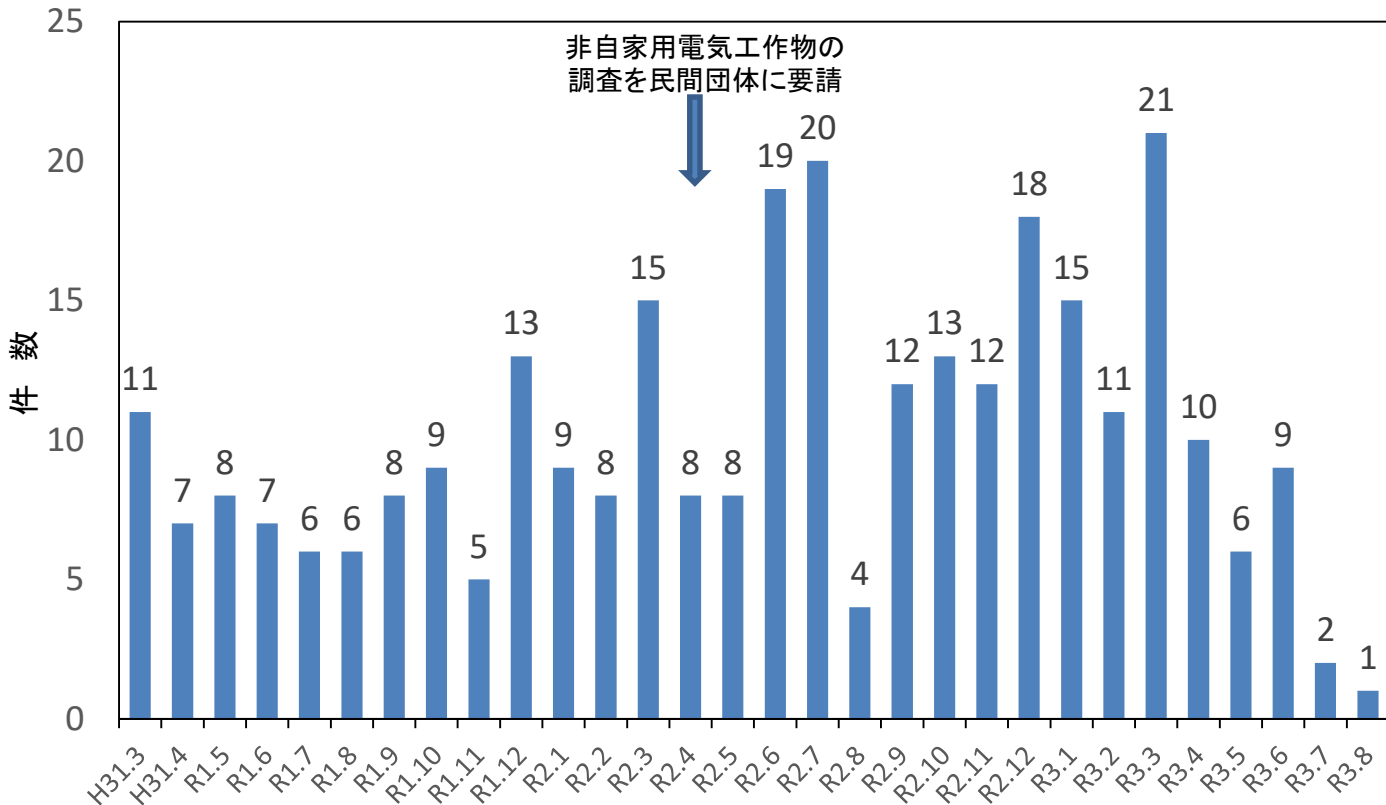
※1 処理完了見込みは、計画的処理完了期限後に新規発見されるコンデンサー等の処理に備えた期間を含む。

北九州事業エリアにおいて事業終了後に発見されたコンデンサー等

概要

- 北九州事業地域における変圧器・コンデンサー等は、平成16年からの15年間で、約12,000事業者の、変圧器約3,000台、コンデンサー約59,000台の計約62,000台を処理し、平成31年3月に計画通り処理を完了。
- JESCO北九州PCB処理事業所の受入終了後に新たに見つかったため、保管事業者において保管を継続している案件が301件存在する(令和3年8月末現在)。

月別新規発見数の推移



種類別

変圧器	2件	3台
コンデンサー (自家用)	158件	214台
コンデンサー (非自家用)	126件	252台
PCB油(試薬等)	15件	-

事業者別

公共	42件
民間	259件